

2022年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行った。2025年に向けて基礎自治体ごとの「0～100歳の地域包括ケア」の実践を引き続き目標に立て、今年度は国が目指す地域共生社会に向け、重層的支援体制整備事業に取り組む地域の実践事例とその効果をNPO・社協・地域で共有する研修を実施した。また、次世代の福祉人材を育てるため介護職員初任者研修課程取得を目指す高校生を応援する「介拓奨学生プログラム」に参画、当法人は介護職員初任者研修を運営した。

具体的には、本法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等第3号研修、強度行動障害支援者養成研修基礎・実践課程の福祉人材育成、また自治体行政職員や民生委員、サービスマーケティング等、NPO現場体験型を基盤にした人材育成研修、定款第5条第2号の事業として、知多市市民活動センター管理、民間助成金運用やグッドガバナンス認証期間とアマゾンジャパンが取り組む「みんなで応援プログラム」の参画、手づくりカフェの運用、知多市のまちづくり担い手育成等の市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として会報発行等の情報交流促進事業、定款第5条第4号の事業として、大学、市民団体や行政等が行うNPOやまちづくり講座への講師派遣やまちづくり審査会等への参加、定款第5条第5号の調査・研究・提言事業として、昨年度に引き続き、愛知県NPOと大学・企業連携促進事業(あいち協働事業サポートセンター((N)ボランティアネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者協働受託)による、多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修及び地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議を行った。また2019年に取得したグッドガバナンス認証の登録更新を行うことで、組織運営のガバナンス機能を再確認した。

2 事業の実施に関する事項

『特定非営利活動事業』

I 人材育成・研修事業

I-1 福祉人材育成・研修

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成(県の認定に準じたカリキュラムの実施)



(1)

介護職員初任者研修(通信課程)	実施形態	自主事業	事業規模	1,486,400円
-----------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講者数
12/22-3/24	日本福祉大学美浜キャンパス ※新型コロナウイルス感染症対策として、一部講義(27時間)をオンライン(Zoom)にて実施	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	20人
合計			20人

フォローアップ研修

日程	場所	事業内容	受講者数
2/16-2/21	オンライン(Zoom)にて実施	介護現場で従事されている方や初任者研修資格取得者のための学び直し(介護職員初任者研修講義科目を聴講)	1人
合計			1人

(2)

介護職員初任者研修(通信課程)	実施形態	介拓奨学生プログラム協働団体	事業規模	2,342,500円
-----------------	------	----------------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講者数
7/10-8/19	クラシティ半田ミーティングルーム、 (一社)日本福祉協議機構、半田市 西区民館、とよた市民活動センター 活動室他	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	17人
合計			17人

[介拓プロジェクト運営者会議]

日 程：Zoom開催 (4/12、5/9、6/9、7/4、8/9、9/8、10/6、11/8、12/6、1/5、2/17、3/10)

構成団体：(社福)むそう、(一社)日本福祉協議機構、(N)外国人就労支援センター、
(N)ゆめはーと、(N)ほっとほーむよっといでん、(一社)アスパシ、(N)アスク
ネット、(N)地域福祉サポートちた。



[担当者のふりかえり]

若者と介護福祉業界をつなぐための新しい制度づくりを目指してスタートした介拓プロジェクトへ参画し、研修講座運営を担当した。尾張、三河を中心とした地域からの高校生が受講し、プロジェクトメンバーの若手講師陣が楽しく、分かり易く講義を行った。研修を通して、「介護に対するのイメージが変わった。」「同世代と一緒に学ぶことができ、人前で話すことに自信がついた。」と成長する様子がみられ、保護者アンケートでも93.4%と満足度は高かった。資格取得後、学業と両立しながら介護事業所で実務経験を積み、自らの可能性を広げている。

運営者会議では、研修やアルバイト先での学生の様子など、細かな気づきも共有し、今後の目標設定など運営者間で共有した。2023年度はさらに多くの高校生へ機会をつなげるため、平日と夏休みの2期開催を予定する。(山森英津子)

(3)

強度行動障害支援者養成研修(基礎課程)	実施形態	自主事業	事業規模	2,721,500円
---------------------	------	------	------	------------

日程	場所	内容	受講者数
5/28、29	メディアス体育館ちた	行動障害が著しい人を支援する施設職員等を対象に障害特性の理解と適切な対応を学び、研修課程習得を目指した講義、演習の実施	40人
8/20、28	メディアス体育館ちた		38人
11/12、13	メディアス体育館ちた		21人
2/11、19	知多市勤労文化会館		37人
合計			136人

(4)

強度行動障害支援者養成研修(実践課程)	実施形態	自主事業	事業規模	1,495,120円
---------------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	受講者数
9/4、11	メディアス体育館ちた	介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行うため講義・演習の実施	28人
3/5、12	知多市市民活動センター		40人
合計			68人

(5)

喀痰吸引等研修(第三号研修(特定の者))	実施形態	自主事業	事業規模	1,001,730円
----------------------	------	------	------	------------

日程	場所	事業内容	基本受講者	実地受講者
7/8、15	知多市市民活動センター	介護職員が施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修課程の実施(基本研修・実地研修※) ※実地研修のみ対象者自宅等で実施	11人	29人
1/6、13	知多市市民活動センター		9人	15人
合計			18人	44人

[喀痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営(必置)]

開催日：2月28日(火) 開催方法：書面

内容：①研修実施状況と進捗状況の報告、②事業所からの相談内容の共有

参加者：中島一光(いきいき在宅クリニック院長)、森田貞子(すみれ訪問看護ステーション管理者)、市野恵、山森英津子



[担当者のふりかえり]

介護職員初任者研修では、コロナ禍で中止していた実習を3年ぶりに再開、7事業所で受け入れを行った。施設職員の利用者に対する明るく丁寧な姿勢や個性に合わせた支援内容など、実際の介護現場を見ることで、研修では学べない多くのことを体験できたという感想があった。喀痰吸引等研修(第3号研修)を受講した事業所からは、医療との連携や安全委員会など支援体制づくりに関する相談が多かった。業務に追われ体制づくりに手が回らない状況があり、人材育成だけではなく、事業所が安心して支援を継続できる体制づくりも同時進行で進めなければならないと感じた。(山森英津子)

強度行動障害支援者養成研修の受講人数が時期によってばらつきがあるため、受講生や各事業所を対象に希望する開催時期についてのアンケートを実施。今後も事業所のニーズを把握するため講師との連携を強化し、より多くの事業所の人材育成に貢献できるよう、努めていきたい。受講生のレポートによると研修内容については総じて満足度が高かったものの、研修で習得した内容をすぐに実践することが難しいとの声もあり、課題も残る。(高熊仁美)

I-2 NPO人材育成研修

(1)

日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	事業規模	753,200円
-----------------------------------	-------------	--------------	-------------	----------

目的：日本福祉大学は2009年4月よりサービスラーニング(以下、SL)を取り組みを始めた。知多地域NPO等での社会経験を生かしたプログラムが特徴。また教育プログラムの狙いである「市民性」を育み、「自己形成力(学習意欲・対人関係能力・問題解決能力)」を高めるとしている。本事業は、大学とNPO等のより良い関係性を築くためのコーディネートを行う。



実績①：SL受け入れNPO等の新規開拓及び調整(28団体、学生106人)
SL受け入れNPO等との意見交換会の開催

日程・場所	実績
2023年1月18日(水) メディアス体育館ちた2階 大会議室	参加者数：34人(NPO等16団体23人、教員7人、大学事務局1人 事務局3人) 新規開拓の実績：3団体((一社)BumpyCompany(知多市)、(一社)みずなぎ(大府市)、(一社)NEWS(南知多町))

実績②：受け入れ学生106人のうち、岡本ゼミ学生4人が当法人で活動

	日程	場所	事業内容
1	7/5	知多市市民活動センター	法人概要、事前説明、計画立案
2	8/3	当法人事務所	ウクライナ情勢についてのインタビュー項目検討
3	8/5	(認N)レスキューストックヤード事務所、 (N)日本ウクライナ文化協会事務所 当法人事務所	午前：レスキューストックヤード種村様、日本ウクライナ文化協会川口様 インタビュー 午後：記録まとめ
4	8/19	知多市役所、当法人事務所	地域とともにある学校づくり愛知フォーラム(愛知県教育委員会主催)参加
5	8/24	当法人事務所	発表資料作成
6	8/26	当法人事務所	発表資料作成、振り返り

[担当者のふりかえり]

コロナの感染が拡大した8月下旬には、受け入れ団体へのアンケートを実施し、各団体の活動状況と困りごとの把握を行い、大学事務局と共有した。教員と受け入れ団体との意見交換会では、学生のコミュニケーションの希薄さについての課題や活動目標や研究成果についての要望などが話し合われた。(山森英津子)

(2)

インターン受け入れ	実施形態	委託事業	事業規模	18,000円
------------------	-------------	------	-------------	---------

目的：当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解、協働を学ぶ

委託元	名称	日程	参加者数	延べ日数
(一社)サポートネット ゆっか	知多市若者就労体験	①4/5、6、8 ②7/28、8/10、20 ③9/18、25、10/2 ④3/5、13、26	4人	12日
(一社)アスバシ	愛知県立東海樟風高等学校インターンシップ	7/25、26	1人	2日
(一社)アスバシ	マイチャレンジインターンシップ	9/18、25、10/2	1人	2日

[担当者のふりかえり]

若者就労体験では、アルバイト経験もなく、当法人での作業が初めての就労経験となる人も多かった。体験者からは「自分の得意なこと(入力作業)、不得意なこと(清掃作業)などが解かった。」との声があった。(安藤千栄子)



夏季に受け入れた2名については、ちた未来塾にも引き続きかわり、得意をいかした取り組みに協力してくれた。同世代とのかかわりの中で成長した様子を感じることができた。(山森英津子)

(3)

NPOマネジメントセミナー	実施形態	自主事業	事業規模	69,000円
---------------	------	------	------	---------

目的：地域の暮らしを支えるNPO活動の継続を目指す

日程	場所	事業内容	参加者数
4/27	知多市福祉活動センター	NPOスタッフのための「働き方」講座 ①地域福祉とNPO活動/講師：市野恵((N)地域福祉サポートちた) ②NPOで働くということ、NPOでのキャリアを考える ビジネスマナーとコミュニケーション 講師：久野美奈子((N)起業支援ネット)	14人
6/17	知多市市民活動センター (オンライン併用)	地域共生社会 変化する制度と暮らし、地域の未来 共催：さわやか福祉財団あいちブロック/協力：認定(N)ゆいの会 ①「地域共生社会の実現に向けて」 講師：清水修(厚生労働省社会・援護局地域福祉課) ②講師と参加者との対話	41人
12/9	知多市市民活動センター	中堅スタッフのための「NPO働き方講座」 ①知多半島NPOネットワークの成り立ち/講師：市野恵 ②NPOで働くということ・NPOでのキャリアを考える(中堅職員編) 講師：久野美奈子((N)起業支援ネット)	12人

[担当者のふりかえり]

「NPOスタッフのための働き方講座」を新人スタッフ、中堅スタッフのそれぞれを対象として4月と12月に開催した。新人スタッフ向けの講座では、コロナ禍により対面での接客やコミュニケーションの場が減り、ビジネスマナーを実践で習得する機会が減少している中で改めてノウハウを学べる貴重な機会となった。また、NPO促進法の施行から20年余りが経ち、「NPO」で働くことを意識せず就業する人も増えている。中堅スタッフを対象とした講座では、理念に基づき活動する「NPO」という職場で働く意義をもう一度考えるきっかけとなった。「地域共生社会」に向けた取り組みでは、「支え手」「受け手」という関係ではなく、誰もが役割を持てる地域づくりが必要であり、そのためには「一人の課題」ではなく「私たちの課題」として住民自身も意識していくことが必要となると感じた。(安藤千栄子)



(4)

行政職員研修	実施形態	委託事業(知多市・東海市)	事業規模	259,710円
--------	------	---------------	------	----------

目的：住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯や取り組みの事例及び、協働による地域課題の解決の成果を学ぶ

日程・開催場所	事業内容	参加者数
10/31 知多市市民活動センター 南粕谷ハウス 南粕谷小学校	豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割を確認する研修を実施。また、今年度スタートした市民協働の仕組み「地域学校協働活動」を学ぶ。 ①講義 ・「NPOの基礎知識と知多地域の特性」 講師：市野恵((N)地域福祉サポートちた) ・「知多地域権利擁護支援センターの設立経緯と事業内容、権利擁護のまちづくり」 講師：今井友乃((N)知多地域権利擁護支援センター) ・「市民協働研修～ちた塾ってどんなところ？～」 講師：横井和美((N)市民大学ちた塾)、大橋啓介(知多市生涯学習スポーツ課課長補佐) ②視察：南粕谷ハウス、南粕谷小学校内、地域学校協働本部、南粕谷放課後子ども教室(地域担当職員および学校教育課、生涯学習スポーツ課、子ども若者支援課) ③グループワーク、総括	2年目職員 11人
1/27 東海市役所 とまと記念館 大池健康交流の家	協働の役割の一旦を担うNPO等の現状を中心に学ぶことにより、今後の職務に活用する。 ①講義 「社会背景と知多地域のNPOについて」講師：市野恵((N)地域福祉サポートちた) ②団体紹介 (N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 ③視察 とまと記念館((N)LET'S食の絆・東海市健康推進課)、大池健康交流の家(大池ぬくもりの会・社会福祉課) ④グループワーク、総括	3年目職員 19人

[担当者のふりかえり]

コロナ禍により現場見学を自粛していたため、東海市は3年ぶりに現場見学を開催することができた。現場の声を直接聞くことで、「まちの資源」を確認し、さらに制度だけでは解決できない地域の課題を知ることで住民の目線で「自分達にできることは何か」を考えるきっかけとなった。参加者からは「たすけあい活動は「尽くすだけではなく、自分達も楽しむ」という市民の言葉が印象に残った。」「地域包括ケアについて、まちづくりは人づくりであるということを感じる事が出来た。」など感想の声が上がった。(安藤千栄子)

(5)

NPO研修	実施形態	委託事業(知多市東部地区民生・児童委員協議会)	事業規模	77,448円
-------	------	-------------------------	------	---------

目的：知多市の東部地区民生・児童委員を対象に、民生委員活動に役立つ知識や制度などを学ぶ

日程	場所	事業内容	参加者数
9/15	知多市市民活動センター会議室	①「児童虐待の早期発見・対応のための民生委員の役割」 講師：荒井直樹、橋能里子(知多市福祉子ども部子ども若者支援課) ②「ひとり親家庭の支援について」 講師：小林玲子(知多市福祉子ども部子ども若者支援課) 資料映像視聴、ふりかえり	18人

[担当者のふりかえり]子どもを取り巻く社会環境の変化により、貧困や虐待、またヤングケアラーなど、課題は多岐に渡っている。地域のつなぎ役である民生委員がこうした課題を協議会全体で理解し情報共有することで、より安心できる地域づくりにつながると感じた。参加者からは、「同じ地区民協に所属しながらも、担当ごと(高齢・児童)の活動について理解できる機会が少ないため、全体での研修はとても参考になった。」との声があった。(安藤千栄子)



(6)

NPO視察研修	実施形態	委託事業(下表参照)	事業規模	94,600円
---------	------	------------	------	---------

目的：NPO活動の実践現場へ訪問し、双方向により見聞きすることで、その活動を理解する

日程	委託元	事業内容	参加者数
6/30	田中優先生(日本福祉大学社会福祉学部行政専修長)	「知多型ふくしのまちづくり研修」 ①校区をベースに地域包括的にまちづくりに取り組んでいる住民自治組織 南粕谷ハウス(知多市コミュニティ・スクールモデル地区) 宮池小学校(半田市コミュニティ・スクールモデル地区)	1名

		②そういった団体を中間支援的にサポートしているNPO法人など (N)りんりん、(N)ひだまりふらっとスペースならわ	
11/12	一宮市市民活動支援センター	①「半田市協働のまちづくりの考え方とセンター概要」 講師：中村省吾(半田市市民協働課主幹) ②サイニングストアクラシカフェ/小牧八重子 ③「市街地にある店舗をシェアしながら、暮らしを支える多様な集まり」 渡辺美佐/みんなの縁がわ(有)豊田屋酒店 ふりかえり、共有	10人
2/22	東海市市民協働課	①(社福)むそう 喫茶なちゅ板山 ②(N)ひだまりふらっとスペースならわ ③(N)とこっ子生活介護事業所 Fellow/放課後等デイサービス Power of live	2人

[担当者のふりかえり]

コロナ禍以降、バーチャルで行っていた一宮市市民活動センターのNPO現場視察を今年度は対面で開催することができた。また、移動に路線バスなどの公共交通機関を利用したことで、停留所から見学先へ徒歩で移動する際に、ところどころにある空き家や数10年前のままの商店街の様子など、まち全体の雰囲気や課題も感じることができた。参加者からは「市民活動は人とのつながり、信頼、協力があって広がっていく。すぐには結果は出ず、10年20年と時間かけて育てていくものと感じた」との感想があった。(安藤千栄子)

(7)

日本福祉大学「リカレント教育×就職支援のDX推進による福祉業界でのセカンドキャリア形成プログラム」	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	事業規模	1,005,500円
--	-------------	--------------	-------------	------------

目的：新型コロナウイルス感染症の影響などにより失業した者、解雇等見込みの者、非正規雇用労働者等のうち、福祉分野への就職に関心を持つ者を対象として福祉の仕事に必要な知識、技術を効率的に修得させ、高齢者分野、障害者分野、児童分野など多様な福祉の業務を担える人材を養成し、福祉分野への就業・就職につなげる

事業内容：①実施委員会構成員としての会議の出席(7/29,11/2,1/23,3/6)計4回

②求職者支援プログラム内の介護職員初任者研修(科目9)に関わる項目の指導講師派遣 プログラム修了者10名

	日程	時間	科目	講師派遣数
1	10/28	10:00~15:30	介護に関する基礎的理解(1)(2)(3)	1人
2	10/31	10:00~15:30	介護に関する基礎的理解(1)(2)(3)	1人
3	11/1	10:00~15:30	生活と家事、快適な居住環境整備	1人
4	11/2	10:00~15:30	快適な居住環境整備、終末期介護	3人
5	11/4	10:00~15:30	睡眠演習	2人
6	11/7	10:00~15:30	移乗演習	2人
7	11/8	10:00~15:30	移動演習	2人
8	11/11	10:00~15:30	整容演習	2人
9	11/14	10:00~15:30	排泄演習	2人
10	11/15	10:00~15:30	入浴演習	2人
11	11/17	10:00~15:30	食事演習	2人
12	11/21	10:00~15:30	演習まとめ	2人
13	11/24	10:00~15:30	介護過程の基礎的理解	2人
14	11/25	10:00~15:30	総合生活支援技術演習	2人
			累計	26人

[担当者のふりかえり]

このプログラムは、資格取得(初任者研修・ガイドヘルパー)に加え、希望に合わせた施設実習や充実したキャリア支援も組み合わせ、就職に向け段階的にサポートする内容である。今年度は就職率向上とミスマッチの減少を目的に「就活用ポータルサイト」を開設し、受講生の就職を支援するメインツールとして活用した。大学事務局報告によると最終的な就職率・就業率は70%であった。(山森英津子)

Ⅱ 市民活動支援事業

Ⅱ-1 市民活動事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ Ada-coda	実施形態	自主事業	事業規模	1,834,053円
-------------------------	-------------	------	-------------	------------

目的：誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援

場所：知多市市民活動センター 調理室・交流室

事業内容：ワンデイシェフに登録した一般市民・団体が提供するランチ等のサポート及びコーディネート
ワンデイシェフ登録数：33人(15団体)、来店者数：延べ2,035人

期間：通年

8/18 中学生レストラン (星槎中学校)	10/22 市民活動センターまつりでの出店	2/4 バレンタインお菓子作り教室	2/8、22 シェフ体験会
			

[担当者のふりかえり]

SNSを活用し、新たな層に向けて集客を行った。シェフと客だけでなく客同士の交流の場となることが出来た。2023年度はAda-codaが20周年の節目を迎えるため、より一層店を盛り上げていくための企画を行いたい。また、シェフが主体的に集客や宣伝を行えるよう取り組みたい。(新海木の実)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)R and Tカンパニー)	事業規模	239,500円
-----------------	-------------	-----------------------	-------------	----------

目的：制度によらない障がい者福祉活動等社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる

[助成審査会] 2回 (8/20、12/14)

[助成金決定]

助成月	助成金決定団体名/団体概要	助成事業	助成額
8月	(N)TSUBAME/重症心身障がい者・医療的ケア児を対象にした児童発達支援事業	障がい児入浴支援に使用するシャワーチェア購入	15万円
	イルカクラブ/発達障害児支援	障がい児をもつ母親の息抜きのための事業(体操教室、エステ、スイーツ会)	3.3万円
	遊び会/発達障害児、不登校児支援	イベント開催費用(ハロウィーンパーティ、クリスマス会)	10万円
12月	パパママ学級知多産前産後ケア/産後うつや体力回復のための母親への居場所づくり	バランスボールを用いた産前産後の心と体をケアする事業	9万円
	遊び会/発達障害児、不登校児支援	不登校児と保護者が地域の親子と交流を深める文化体験	3万円
	悩めるママの一步を応援プロジェクトなやっぽ/子育て中のママの居場所づくり	母親への役立つ講座の提供と子育て相談	10万円

[担当者のふりかえり]

コロナの制限緩和が広がる中、団体の活動も再開され、イベント開催費用などの助成が目立った。団体同士の横のつながりを作り、地域活性の目的もあるため、長年中止していた交流会もハイブリットなどの工夫を加え、2023年度は再開していく予定。(山森英津子)

(3)

物品クラウドファンディング	実施形態	自主事業	事業規模	53,253円
---------------	------	------	------	---------

目的：インターネット(Amazonみんなで応援プログラム)を通してNPO活動の情報発信を行い、全国の共感者から物資調達ができる仕組みを活用し、団体へ物資提供 ※Amazonみんなで応援プログラムは、(公財)非営利組織評価センター(JCNE)が認証したグッドガバナンス認証団体及び、子ども食堂活動団体が参加するアマゾンジャパンの社会貢献活動

[物資提供]

	支援先	提供内容
1	(N)日本ウクライナ文化協会(名古屋市)	調理道具一式、ことば絵カード、文具、学用品
2	(N)くるくる(刈谷市)	絵本
3	(N)とこっ子(常滑市)	知育玩具
4	手づくりカフェAda-coda	キッチン用品

[担当者のふりかえり]

日本へ避難してきたウクライナ人家族が新たに生活を築くために必要な調理器具などの日用品、またその子ども達へ筆記具やハサミ、ノートなどの学用品が多く寄せられ、(N)日本ウクライナ文化協会を通じて寄付を行った。またアマゾンジャパンがクリスマスや新年度などに行うイベント時には、子ども達への学用品などが多く寄せられた。(安藤千栄子)

II-2 市民活動支援事業(受託契約事業)

(1)

市民活動センター相談・支援	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	8,962,800円
---------------	------	----------------	------	------------

目的：市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する

事業内容(右表)

- ①市民活動に関する相談業務
- ②市民活動のための場所の提供業務
- ③センター使用料徴収業務
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供業務
 - ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース、ラック、掲示板、ホームページを活用した情報発信
 - ・団体情報ファイルを整理して最新の情報収集
- ⑤その他市民活動の推進に必要な業務
 - ・waiwai交流会(年2回) センター登録団体を主対象に情報交換会を実施

月	稼働日数(日)	①相談(件数)	②場所の提供業務		③使用料徴収業務(件数)
			市民活動室利用(人)	会議室利用(人)	
4月	29	34	335	470	69
5月	28	32	294	556	44
6月	30	36	285	560	130
7月	30	36	283	595	46
8月	30	33	278	616	49
9月	28	21	295	606	69
10月	30	23	338	739	41
11月	28	36	308	846	89
12月	28	35	267	572	80
1月	27	31	298	525	35
2月	27	31	275	640	35
3月	30	48	304	646	44
計	345	396	3,560	7,371	731

[waiwai交流会]

日程	内容	参加者数
8/20	講演『『ヤングケアラー』って何だろう?』 講師:岸上芳晴氏(愛知県福祉局児童家庭課 子どもの権利擁護推進グループ)	26人
10/29	講義「消費税インボイス制度」ってなあに? 講師:大塚久俊氏(大塚会計事務所 税理士)	18人
2/11	「私たちの活動上映会」	30人



[新型コロナウイルス感染症対策]

- ・入退館時の手指消毒、マスク着用徹底
- ・入館者は氏名、連絡先、健康状態等を記入提出
- ・会議室利用時の換気の徹底(30分に1回/5分程度)、利用後の室内および備品等の消毒

期間	制限	閉館時間	その他
3/22～5/29	フリースペース: 飲食再開、会話以外の発声伴う利用再開	午後9時半	まん延防止等重点措置解除
5/3～2023/2/1	屋内施設におけるマスク着用に関する留意事項変更(身体的距離2m以上確保できる場合で、会話なしの場合、マスク不要)	午後9時半	感染防止対策変更
2/2～3/12	入館者情報の把握取り消し 室内3蜜対策の徹底協力依頼掲示の取り消し	午後9時半	感染防止対策変更
3/13～3/31	原則、屋内外問わずマスク着用は個人の判断	午後9時半	感染防止対策変更

(2)

事業名	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	905,300円
市民活動センター清掃事業				

目的: 障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート

事業内容: 週5日のセンター館内の清掃業務(年間251日)及び清掃具・消耗品の管理・充填

(3)

事業名	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	292,600円
市民活動センター夜間管理事業				

目的: センター夜間時における施設管理業務

事業内容: 夜間(18:00～21:30)の場所の提供業務と閉館作業 ※夜間利用がある日のみ対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用時間(時間)	13.5	24.5	19.5	24.5	15	21.5	28	16	15.5	5	15.5	19.5	218
利用日数(日)	6	9	7	9	5	8	10	7	6	2	7	7	83

(4)

事業名	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	468,714円
知多市市民活動支援事業				

目的: 地域活動・市民活動を主に担ってきた世代の減少に伴い、今後ますます人材の確保が難しくなると予測される。そこで、現在活動中の地域活動・市民活動団体の情報発信を強化することで、活動の理解者を増やし、新たな人材の発掘につながるよう、団体支援する。本事業受講により市民活動団体が、より多くの人に必要性を伝える「拡散」と、関心を引く「共感」の2つの効果を生む情報発信力を得ることで、持続可能な活動へとステップアップすることを目的とする。

事業内容: 市民が市民を育てるまちづくりの総合拠点、知多市市民活動センターを共同運営する三者(総合ボランティアセンター、(N)市民大学ちた塾、当法人)が「本事業共同事業体協定」を締結し、月1回の企画運営会議を行い、以下のスケジュールで実施した。「次世代に届けよう! 私たちの活動を。」をテーマに、センターの登録団体の中から希望団体を募り、活動内容を映像化するための講義や演習を行い、活動紹介動画を作成して、PRに使ってもらう。完成した活動紹介動画は、第3回waiwai交流会にて、上映会を行った。

日程	内容	講師	参加人数
1 9/3	・あいさつ ・事業概要説明 ・講義:「次世代に届けよう! 私たちの活動を。ちゃんと伝わる動画のプレゼン」 ・団体紹介 ・演習:「映像化のための台本づくり」 ・使用機器確認	平岩佳代(市民協働課長) 森智史(市民協働課) 大野裕史(碧南市市民活動センターセンター長) 鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク)	15人
2 9/17	・講義:「撮影編集概論」 ・演習:「お試し動画の作成、動画の転送」	鈴木宏樹、宮路徹(知多メディアネットワーク)	17人

3	10/1	・講義:「clipchampの使い方」 ・演習:「市民活動センターの紹介VTRをつくる」	鈴木宏樹、宮路徹(知多メディアネットワーク)	12人
4	12/3	・講義:「これまでの復習(台本づくり・clipchampの使い方)」 ・演習:「活動紹介動画の構成を考え、動画をつくる」 ・実行委員会構成メンバーの事業紹介 ・あいさつ	鈴木宏樹、宮路徹(知多メディアネットワーク) 平岩佳代(市民協働課長)	13人
5	1/14	動画作成・編集の相談会	鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク)	5人

[担当者のふりかえり]

ほとんどの団体が動画作成の経験がないところから始まったが、最後は、すべての団体が思いのこもった素敵な動画が仕上がった。参加者の感想からは、作成の大変さも伝わってきたが、「活動を知ってほしい」、「仲間を増やしたい」という思いがあり、活動紹介動画の作成にチャレンジする、様々な団体に関われたことは、中間支援という立場として、とても有意義だった。(早川純子)



(5)

若者チャレンジ支援事業「ちた未来塾」	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	743,600円
---------------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的: 地域の未来を担う若い人々を対象に、講座・体験・実践活動等を通じて、すでに地域活動を実践している先輩たちと共に学ぶことで、将来、積極的にまちづくりに参加できる人材を育成。最終的には参加者が次年度以降の本事業の企画等に携わることができる循環型の人材の育成を目指す

事業成果: 入塾: 15人(高校生12人・大学生3人)

構成: 36回(塾の開催: 4回、フィールドワーク: 5回、塾生チャレンジ企画: 6回、ミーティング: 21回)

[塾の開催]

	日程	場所	事業内容	参加者数	
1	6/11	知多市役所	【入塾式】 ・自己紹介 ・講演:「SDGsを学ぼう!」講師: 吉村輝彦氏 ・ミニレクチャー:「身近なSDGs」講師: 清水麻生氏((N)こまき市民活動ネットワーク) ・グループワーク ・SDGs川柳作成	21人	
2	7/3	こまき市民交流テラス ワクティブこまき	【小牧フィールドワーク】「身近なSDGsを見学に行こう!」 ・施設見学「こまきこども未来館」 ・講義:「『好き』から始める『イイまち』活動」 講師: 関哲雄氏((N)こまき市民活動ネットワーク) ・講義:「SDGsアクションプロジェクト」 講師: 清水麻生氏((N)こまき市民活動ネットワーク)	12人	
3	8/20	知多市市民活動センター	【中間報告会】 ・個別フィールドワーク報告・総評 ・グループワーク「今後やりたいこと!」	14人	
4	12/18	知多市市民活動センター	【2022年度活動報告会(一般公開)】 ・講義:「ミライを見据えるために大事にしたいこと~SDGsを切り口に~」 講師: 吉村輝彦氏 ・今年度の活動報告 ・塾生による活動報告 ・意見交換「若者を巻き込んだまちづくり」	34人	
				延べ	81人



[フィールドワーク]

	日程	場所	事業内容	参加者数
1	8/14	知多市メディアス体育館	【知多市役所、知多市生涯学習スポーツ課】 ・職員へ仕事内容をヒアリング ・囲碁ボール体験	7人
2	8/15	常滑市内	【国際芸術祭 あいち2022 常滑会場】 ・アート鑑賞 ・まちづくり見学	3人
3	8/19	知多市岡田	【岡田・SoN】 ・SoN見学、ヒアリング ・岡田のまち見学	6人
4	8/25	知多市	【ちたこどもの家 Lente】 ・ゲームボランティア	4人
5	8/26	知多市岡田	【SoN祭り】 ・祭り準備、接客	6人
延べ				26人

[塾生チャレンジ企画]

企画	日程	場所	事業内容	参加者数	
カフェ 	1	10/30	知多市市民活動センター	【試食会】 ・メニュー決め	8人
	2	11/13	知多市市民活動センター	【身内練習会】 ・家族、友人向けにカフェ営業	18人
	3	11/27	知多市市民活動センター	【café Mirai(本番)】 ・一般向けにカフェ営業 ・インスタグラム、チラシで広報	33人
ゲーム・スポーツ 	1	10/23	知多市勤労文化会館	【産業まつり・eスポーツ体験ブース見学】 ・VRリズムゲームの体験 ・運営スタッフへのヒアリング ・親睦会	9人
	2	12/20	知多市市民活動センター	【親睦ゲーム大会】 ・Switchでゲーム	11人
	3	1/7	知多市市民活動センター	【親睦スポーツ大会】 ・モルック ・囲碁ボール	11人
延べ				90人	

[実施体制]

塾長	吉村輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部教授)
サポーター(3人)	森戸力(社会人・元1期生)、鈴木友梨(社会人・元第1期生)、犬飼ひかる(社会人・元第3期生)
担当課職員	平岩佳代、森智史、加藤隆一、田中亜耶
事務局	市野恵、久田富二子、山森英津子、早川純子

[担当者のふりかえり]

塾生チャレンジ企画では、得意なことを取り入れた、カフェ、ゲーム、スポーツの3企画を行った。塾生の意見から、slack アプリを活用し、同時進行で進む企画の進捗や内容を把握しながら進めることができた。報告会では、活動における気づきや今後の意気込みを発表し、一般参加者とともに若者を巻き込んだまちづくりについて意見交換をおこなった。忙しい学生生活の中で、取捨選択しながら、積極的に参加してくれた塾生たちに感謝したい。(山森英津子)



(6)

知多市地域担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	事業規模	474,100円
---------------------	-------------	----------------	-------------	----------

目的：令和5年度より地域で利活用される「コミュニティ別地域カルテ」の活用法を、先進地である豊田市の取り組みから学び、地域の課題解決との関連性を理解する。コミュニケーションを円滑にするファンリテーション技術を学ぶことで、新年度の地域における合意形成から活動の発展に向けたヒントを持ち帰ることができる。

開催場所：知多市市民活動センター会議室、メディアス体育館ちた大会議室

日時	講師	事業内容	受講対象	参加者数
2/12	①青木優 (知多市市民協働課) ②栗本浩一 (同)P-BEANS	講義①「知多市地域カルテ」の紹介 講義②「地域カルテ、どうやって活用しよう？」 地域カルテを活用した豊田市のまちづくり事例を学ぶ	令和4年度コミュニティ役員 令和5年度コミュニティ役員 生活支援Co. 行政職員(地域担当職員等)	35人
2/26	栗本浩一 (同)P-BEANS	「地域活動、どうやって創造しよう？」 発想を組み合わせ、多様な人が関わることで、誰かの困りごとと解決できるアイデアを共有する合意形成を学ぶ	令和4年度コミュニティ役員 令和5年度コミュニティ役員	28人
3/11	栗本浩一 (同)P-BEANS	「町の幸福論コミュニティデザインを考える」 分野を問わず、人のつながりを生かした未来のまちづくりを考える	令和5年度コミュニティ役員	20人
			延べ	83人

[担当者のふりかえり]

昨年度の講師、川北氏より提案がなされた「暮らし方の変化に即した“地域の進化”に向けて、地域活動の方針作りや実践に向けた話し合いを円滑にするための基礎資料、「地域カルテ」が完成した今年度は、これを活用しながら地域を客観視することから取り組みが始められるよう、その特徴や活用事例を中心に研修を行った。その結果、他地域の役員との情報共有ができる本研修の機会が有益だった事が高い評価につながった。しかし、本来の目的である未来に向けた取り組みにするには、地域診断も含めて、役員に対する個別サポート機能の充実が求められている。(市野恵)

Ⅲ 情報交流促進事業

Ⅲ-1 情報提供事業

(1)

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-----------------	-------------	------	-------------	----

目的：当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う。

事業成果：年間アクセス数 23,784回(2022/4/1~2023/3/31)

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>



(2)

ニュースレター発行 法人パンフレット発行	実施形態	自主事業	事業規模	0円
---------------------------------	-------------	------	-------------	----

目的：地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民活動情報等を会員をはじめ、行政、社会福祉協議会、市民活動センター、市民、学生に広く発信

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回1000部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署 愛知県内社会福祉協議会 愛知県内市民活動センター
法人パンフレット	年1回6月改訂 1500部	県外NPOセンター各所



SUPPORT NEWS



法人パンフレット

Ⅲ-2 情報交流事業

(1)

会員交流	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-------------	-------------	------	-------------	----

目的：知多地域のNPO団体における課題解決、活動の方向性を考えるために必要な情報の提供を行うとともに、会員相互の懇親を図り情報交換の機会を持つことで、NPOの発展に寄与する

開催場所：知多市民活動センター(オンライン併用)

事業内容：6月18日「私たちNPOの原点を考える」

講師：西野博之(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長)

参加者数：41名



[担当者のふりかえり]

困ったときはお互い様からスタートした知多地域の助け合いは、介護保険制度として構築され、掲げてきた「0～100のまちづくり」は包括支援整備事業として進められている。しかし、NPO法施行から20年余りがたち、地域のニーズは多様化し、自治会を始めとした地域交流は徐々に希薄になっていると言われている。昨今、国が目指す地域共生社会に向けて、再び「地域のつながり」が求められている。今またNPOが立ち上がったその原点にもどっていると感じた。(安藤千栄子)

(2)

会員リーダー研修	実施形態	自主事業	事業規模	42,673円
-----------------	-------------	------	-------------	---------

目的：まちづくり型ふくしを育んできた市民力を地域共生社会に生かした事例を通して、NPO活動の次なる展開を考える

開催場所：メディアス体育館ちた 大会議室

事業内容：1月18日「0歳から100歳みんなで支えあう地域福祉の実践」

- ・「包括的支援体制と重層的支援体制整備事業」

講師：原田正樹(日本福祉大学)

- ・重層的支援体制整備事業実践報告

加藤恵(半田市社会福祉協議会)、山崎紀恵子(認定(N)絆)

- ・グループワーク、講評

参加者数：62名



[担当者のふりかえり]

国が目標とする地域共生社会を実現するためには、NPO・社協・行政の連携がますます必要とされる。地域づくりにおいては、一から作りあげるのではなく、認定(N)絆の事例にあったように、これまで長年に渡り築いてきた地域づくりのノウハウが事業に活かされるよう、地域資源を把握し、つないで行ける仕組みが必要であると感じた。知多地域の強みでもある、5市5町のネットワークを活かし、今後も継続的に情報交換できる場が必要であると感じた。(安藤千栄子)

※本事業は、(株)サーラコーポレーション協賛金にて実施した。(愛知県みんなで選ぶ「NPOアワード」にて提案)

Ⅳ 啓発・相談事業

Ⅳ-1 講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画

NPO・まちづくり講師派遣	実施形態	行政	事業規模	49,180円
		民間	事業規模	67,262円

目的：大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1) 大学等講師派遣				
1	日本福祉大学国際福祉開発学部1年	4/22	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野

2	日本福祉大学 社会福祉学部2年	6/10	行政福祉特別講義「知多半島における市民活動の事例から」	市野
3	日本福祉大学 社会福祉学部1年	7/6	社会福祉入門「地域における福祉実践(2)ーNPOー」	市野
4	日本赤十字豊田看護大学看護学部1年	10/6	「ボランティア活動論」	市野
(2)行政・各種団体講師等派遣				
1	(社福)愛知県社会福祉協議会	6/3~2/14	あいちシルバーカレッジ講義「地域福祉とNPO」	市野
2	愛知県高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室	9/7.14	令和4年度通いの場モデル事業市町村説明会 実践報告「モデル事業の取組結果及び今後の展開」	安藤
3	(公財)愛知県スポーツ協会	10/23.30 11/13.19.20	総合型地域スポーツクラブエリアネットワーク情報交流セミナー 講義「地域スポーツ団体の事業継承について」	市野

(3)各種検討委員会等委員派遣				
1	全国NPO事務支援カンファレンス会員			市野
2	愛知県市民活動支援センター情報交流会実行委員会			市野
3	(N)ボランタリーネイバーズ理事			市野
4	(N)あいちNPO市民ネットワーク理事			市野
5	(N)だいこんの花理事			市野
6	(一社)サステナブル・コ・イノベーションフォーラム理事			市野
7	(社福)愛光園理事			市野
8	知多半島フットケアサポート会監事			市野
9	子どもゆめ基金専門委員(独立行政法人国立青少年教育振興機構)			市野
10	知多メディアスネットワーク株式会社 FM番組審議会委員			市野
11	知多メディアスネットワーク株式会社 テレビ番組審議会委員			安藤
12	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員			市野
13	知多市特別職等報酬審議会委員			市野
14	知多市環境審議会委員			市野
15	知多市都市計画審議会委員			市野
16	知多市若者支援地域協議会構成員			山森
17	知多市市民活動センター連絡会議 開催日(月1回):4/6、5/11、6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、11/2、12/7、1/4、2/1、3/1			早川、安藤 山森
18	知多市市民活動センター連携会議 開催日(月1回):4/15、5/12、31、6/8、7/8、8/9、30、9/27、11/9、12/7、2/3、3/11			市野 早川
19	(公財)日本非営利組織評価センターグッドガバナンス評価員			市野
20	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(6/26)			市野
21	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会(12/10)			市野
22	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会(3/2)			市野
23	知多警察署協議会			山森
24	若者未来応援協議会 6/23、12/22			市野
25	愛知県青少年育成県民会議参加団体			市野

IV-2 NPO・まちづくり相談事業

まちづくり相談事業	実施形態	自主事業	事業規模	0円
-----------	------	------	------	----

目的：NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決による活動支援

事業内容：電話・FAX・Eメール・来訪などで相談に対応

[分野別相談件数]

健康・医療・福祉の増進社会	15	環境の保全	1	情報化社会の発展	1
教育の推進	2	災害の救助	1	経済活動の活性化	1
まちづくりの推進	6	人権擁護・平和の推進	1	職業能力の開発・雇用機会の拡充支援	3
学術・文化・芸術・スポーツの振興	2	子どもの健全育成	3	団体の運営・活動援助	9
その他	7				合計 52 件

IV-3 行政訪問

行政訪問	実施形態	自主事業	事業規模	0円
------	------	------	------	----

目的：NPOと知多10市町(基礎自治体)との協働促進

事業内容：知多市とは年間を通して協働し、事業推進や情報交換を実施している。また、3市5町(常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)とは、総会后、当該地域の会員団体とともに訪問、事業報告と情報交換を実施

[担当者のふりかえり]

コロナ禍においては事業縮小だけではなく、リモートを活用した新たな研修の形などNPO活動における現状を報告し、今後の課題など情報交換を行った。当該市町のリーダーと共に、必要となる地域協働および、町内連携をよびかけた。(安藤千栄子)

日程	訪問先(同行NPO)
6/10	東海市市民協働課 (N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛)
6/20	大府市協働推進生涯学習課
6/22	武豊町企画政策課((N)ゆめじろう)、 阿久比町役場政策協働課((N)もやい)
6/27	東浦町住民自治課(認定(N)絆)
6/29	半田市市民協働課((N)りんりん)、 常滑市市民協働課((N)あかり)
7/1	美浜町企画課、南知多町まちづくり推進室

V 調査・研究・提言事業

V-1 NPO・まちづくり研究調査提言事業

(1)

愛知県NPOと大学・企業連携促進事業	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	事業規模	1,698,576円
--------------------	------	------------------	------	------------

目的：地域の課題が多様化・複雑化していく中で、様々な課題を解決していくためには、地域の多様な主体が連携・協働して取り組むことが求められている。また、行政や市民活動センター等の職員には、各主体の連携・協働に係るコーディネーターとしての役割が期待されている。そのため、2020年度に実施した、NPOと大学・企業の連携・協働に係る先進事例や連携・協働に関するニーズについての調査結果を元に研修を実施し、研修の内容をまとめた成果報告書を県内の市町村や市民活動センターに提供することで、多様な主体による連携・協働を促進する。

事業内容：(N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施。多様な主体の連携・協働を進めるために必要なコーディネータースキルを学ぶ「多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修」と、地域課題の解決に向けて、多様な主体が集まって地域円卓会議を体験しながら学ぶ「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」の2種類の研修を行った。さらに、それぞれの研修の内容についてまとめた成果報告書を作成した。



実施内容：多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修

日程	場所	内容	参加人数
1	9/6	あいちNPO 交流プラザ	24人
		テーマ 連携・協働 基本の「き」	
		第1部 講演：「課題解決につながる連携・協働とは？地域円卓会議とは？」 講師：高平亮((N)岡山NPOセンター事業部長 ESD・市民協働推進センターセンター長)	
		第2部 グループワーク：自己紹介と講演の感想共有 わがまち自慢<強み> & こまりごと<弱み> ファシリテーター：加藤武志(まち楽房(有)代表取締役)	

2	10/12	あいちNPO 交流プラザ	テーマ	連携・協働の芽を見つける	20人
			第1部	グループワーク:こんな時どうしたらいい? 悩みや不安	
3	10/12	あいちNPO 交流プラザ	第2部	「それぞれの強み・得意を生かしたNPOの連携・協働事例」 講師: 関哲雄((N)こまき市民活動ネットワーク事業部長、こまき市民交流テラス ワク ティブこまき)	22人
			第1部	「成果を見据えて連携・協働のプランをつくるためのポイント」 講師: 今井友乃((N)知多地域権利擁護支援センター理事長)	
4	11/29	あいちNPO 交流プラザ	第2部	グループワーク:1日(2・3回研修)を通しての「気づきと挑戦(Awareness & Try)」を共有	17人
			テーマ	自分のプランを発信する	
4	11/29	あいちNPO 交流プラザ	第1部	「自分のプランを発信する」 講師: 星野博((N)志民連いちのみや理事長)	
			第2部	共有タイム:第1部グループトークの共有	
			第3部	チェックアウト:「今日の研修で刺さったこと」 「4回の研修をふまえ、現場に戻り〇〇します」を発表	

実施内容：地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)

日程	場所	内容	参加人数	
1	9/6 あいちNPO 交流プラザ	テーマ	連携・協働のためのコーディネーターの心得	11人
		第1部	講演:「連課題解決につながる連携・協働とは? 地域円卓会議とは?」 講師: 高平亮((N)岡山NPOセンター事業部長 ESD・市民協働推進センターセンター長)	
		第2部	・話題提起:「連携・協働のためのコーディネーターの心得」 話題提起者: 大脇明子(名古屋経済大学地域連携センター統括主査) ・グループワーク:コーディネーターとして、ネックになっていること	
2	10/4 あいちNPO 交流プラザ	テーマ	地域円卓会議の成果を生む参加者の組み合わせ・調整	12人
		第1部	・話題提起①:「福祉とまちづくりをどう組み合わせるか」 話題提起者: 山下祐司((N)コネクトスポット理事長) ・話題提起②:「福祉と学生をどう組み合わせるか」 話題提起者: 鈴木萌芽((株)musbun代表)	
第2部	・講演:「多様な主体の連携・協働によるイノベーションとレジリエンス」 ・講師: 菊池遼(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科助教)			
3	11/18 岡崎市内	現場見学: 岡崎市/松應寺横丁・籠田公園(QURUWAの拠点) 案内人: 天野裕((N)岡崎まち育てセンター・りた事業企画マネージャー)	16人	
4	11/18 愛知県西 三河総合 庁舎	テーマ	地域円卓会議の場づくり、連携・協働の関係づくりの支援	14人
		第1部	講義:「松應寺横丁の地域交流から地域課題解決に至るプロセス」 講師: 天野 裕氏((N)岡崎まち育てセンター・りた事業企画マネージャー)	
		第2部	・話題提起①:「多世代交流のための地縁団体を交えた話し合い」 話題提起者: 小林照美((N)かたひらかたろう理事長) ・話題提起②:「多文化交流のための地縁団体を交えた話し合い」 話題提起者: 長尾晴香((一社)ViVarsity代表理事) ・グループワーク: 地域との関係づくり・場づくりで困っていること	
5	12/13 スペース七 番	テーマ	連携・協働を阻むもの、それを克服するための担当者の役割	13人
		第1部	講義:「多様な主体による連携・協働のためのコーディネーター論」 講師: 名畑 恵氏((N)まちの縁側育み隊代表理事、錦二丁目エリアマネジメント(株) 代表取締役)	
		第2部	地域円卓会議 実践編 ファシリテーター: 池田哲也((一社)地域問題研究所事業部長)	

[担当者のふりかえり]

主に「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」を担当した。今年度は、「小規模地域での地域交流」と「地縁組織との関わり・つながり」をテーマとし、岡崎市松本町や名古屋市中区錦二丁目の成功事例を中心に、様々な連携・協働のあり方を学んだ。この連携促進事業自体も、3つのNPOの連携で行っており、アイデアや人脈など、多様な主体が連携することの価値を実感しながら進めることができた。(早川純子)

(2)

0-100研究プロジェクト(D)(E)(G)事務局	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究推進センター)	事業規模	894,407円
----------------------------------	-------------	--------------------------	-------------	----------

【プロジェクトD:専門職による多職種連携・職員研修】

目的: 知多半島5市5町の実態に基づいた在宅医療・介護連携推進事業/多職種研修推進のために、あらゆる壁を越えたネットワークキングの構築

参加対象: 在宅医療・介護連携推進事業/多職種研修推進ワークショップメンバー、医療関係者

日程	場所	内容	参加者数
8/19	知多市市民活動センター オンライン併用	在宅介護・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ① ファシリテーター: 藤井博之教授(長野大学社会福祉学部/佐久病院医師) テーマ: 事例を通して「医療と福祉(介護)との壁」を考える 事例報告: 前山憲一氏(半田市社会福祉協議会事務局長) グループワーク「連携の課題・工夫点」、発表、全体討論 ※特別参加:(A)こども・若者への支援ネットワークづくり/野尻紀恵子教授	24人
12/15	日本福祉大学 東海キャンパス オンライン併用	在宅介護・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ② ファシリテーター: 藤井博之教授(長野大学社会福祉学部/佐久病院医師) テーマ: 事例を通して「役割や考え方の違い」を確認する 事例報告: 久野裕規氏(南知多町健康介護課地域包括支援係) 個人ワーク、グループワーク、発表、全体討論 ※特別参加:(C)身寄りのない単身高齢者に対する支援体制の構築/藤森克彦教授	20人

打ち合わせ日程: ①5/11 ②6/27 ③9/23 ④10/14 ⑤11/22 ⑥1/23 ⑦3/13

【プロジェクトE:福祉施設等のBCP、減災ネットワークの取り組み】

目的: 「知多半島型災害時レジリエンス向上支援システムの開発 ～地域住民一人ひとりが“支援の力”となるために～」として、平常時からの防災・減災活動につなげるため、地域や住民自らのレジリエンス(回復力)を高めるべく、避難行動要支援者でもある当事者とその家族とともに取り組む「個別避難計画の作成」、さらには地域連携の活用を目指す

開催場所: ①オンライン、②知多市市民活動センター会議室(オンライン併用)

日程	内容	参加者数
①7月28日	講義:「これまでの経緯と取り組み」講師: 村野淳子氏(別府市防災局防災危機管理課)	6人
②11月15日	プロジェクトEが目指す姿とこれまでの取り組みについて(山本克彦教授・新美綾子教授) 講演:「個別避難計画の作成 ～誰一人取り残さない防災～」講師: 同上 グループワーク「わが町の「命と暮らしを守るための連携を考える」、発表	40人

【プロジェクトG:包括的支援体制・重層的支援体制整備事業に関する研究会】

目的: 本研究会の目的は、2021年度に実施した全体研究会やアンケート等で得られたデータを生かして作成された概念図をもとに、調査項目の選定、分析シートを作成し、5市5町に対して重層的支援体制整備事業に関わる現状及び意向調査結果の共有により、その取り組みを促進、向上に寄与すること。

開催場所: 日本福祉大学 東海キャンパス

参加対象: 知多5市5町行政・社協職員、大学研究メンバー

日程	内容	参加者数
5月15日	2021年度の取り組みについて(菊池遼助教)、研究会メンバーの紹介、2022年度の研究計画について(川島ゆり子教授)、各自治体の近況報告(①重層事業の取組状況、②課題・要望)	46人
8月29日	「重層的支援体制整備事業による体制整備に向け市町村の事業実施体制の評価指標の開発に関する調査・研究事業」報告(吉村輝彦教授)、実施自治体を囲み情報交換と討議、各自治体メンバーと担当研究者の打ち合わせ	40人
10月26日	「包括的支援体制整備・重層的支援体制整備事業を構築する論点」(川島ゆり子教授)、テーマ別ワールドカフェ(①CSWの機能、②地域福祉計画・活動計画をどのように体制に反映させるか・体制整備の経験をどのように次の計画に反映させるか、③会議体の再編、④会議体の機能を高めるには?、⑤重層を(庁内や関係機関、住民に)周知する、⑥地域特性や資源を生かして体制づくりを行うには?)、情報共有	45人
1月20日	「包括的支援体制・重層的支援体制整備事業を構築する論点」(川島ゆり子教授)、大学との継続的な協働に向けての期待について報告(原田正樹教授)、「今後の知多地域の包括的支援体制構築のために」(大学研究メンバー)	38人

[担当者のふりかえり]

今年度も3つのプロジェクト事務局を担当させていただくことによって、地域が抱える課題を大学へ提供し、解決の糸口をもつ大学の知見を地域へ循環させるお手伝いことができました。改めて、5市5町の基礎自治体から成り立つ知多地域ですが、な産業構造や人口、地域性すべてがバラバラです。だからこそ、日本福祉大学を核に、5市5町が持つ情報を共有する本プロジェクトが持つ意味は大きいと感じています。(市野恵)

VI 会議の開催に関する事項

	会議名	内容	参加者	場所・日程
1	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員 38 人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/26
2	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所 5/16、6/1、7/19、9/20、11/21、1/16、3/20(年6回)
3	監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/13
4	担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②総務グループ	各担当者	当法人事務所 ① 4/13、5/11、9/20、10/14、11/29、12/15、1/25、2/9、3/3 ② 4/18、5/19、12/12、1/17、2/10、3/23
5	スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/4、5/2、6/6、7/4、/、9/5、10/3、11/7、12/9、1/11、2/6、3/7(月1回)

その他実績

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
4月	1日	ウクライナ避難者への食糧支援	〈(認N) 2HN〉
	2日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈名古屋市政資料館〉
	7日	ウクライナ避難者受け入れ団体情報交換会(日本YMCA同盟主催)	〈オンライン〉
	15日	愛知県内ウクライナ避難者支援情報交換	〈知多市市民活動センター〉
	21日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
	25日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	26日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
5月	27日	愛知県NPOと大学・企業連携促進事業(Co.研修、連携・協働促進会議)説明会	〈NPO交流プラザ〉
	7日	(N) 中部プロボノセンター10周年記念フェスティバル	〈ウインクあいち〉
	9日	東浦町の地域福祉を考えるシンポジウム(東浦町・東浦町社協共催)	〈オンライン〉
	13日	(N) 地域福祉サポートちた監査	〈サボちた事務所〉
	14日	(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉
	15日	知多半島フットケアサポート理事会	〈知多市市民活動センター〉
	16日	(N) 地域福祉サポートちた理事会 (N) あいちNPO市民ネットワークセンター青りんごPJ	〈事務所・オンライン〉 〈みよし市市民活動センター〉
	18日	知多広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
	19日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
	20日	知多市第6次総合計画意見交換会 第1回	〈知多市役所〉
	21日	(N) だいこんの花通常総会	〈喫茶らでいっしゅ〉
	25日	日本福祉大学0-100PJ 全体研究会	〈オンライン〉
	26日	(N) 地域福祉サポートちた通常総会	〈知多市市民活動センター〉
	27日	知多市第6次総合計画意見交換会 第2回	〈知多市役所〉
29日	(N) 知多地域権利擁護支援センター通常総会・法人名称変更記念講演会	〈知多市子ども未来館〉	
6月	2日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	4日	(N) チャレンジド総会・記念講演会	〈美浜町〉
	6日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	15日	全国コミュニティ財団協会審査会	〈オンライン〉
	17日	さわやか福祉財団愛知ブロック主催講演会	〈知多市市民活動センター〉
	19日	(N) ボランティアネイバーズ総会・記念公開シンポジウム	〈オンライン〉
	23日	愛知県若者未来応援協議会 愛知県2022年度採用2年目職員研修(e-learning用撮影)	〈クラシティ〉 〈愛知県自治研修所〉
	24日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター通常総会	〈みよし市市民活動センター〉
	26日	(N) 絆 アップサイクル・プロジェクト	〈ラソ・プラザ〉
	28日	ウクライナ避難者支援団体情報交換会	〈知多市市民活動センター〉
7月	6日	子ども若者支援ネット会議 グッドガバナンス認証団体オンライン交流会	〈知多市青少年会館〉 〈オンライン〉
	7日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	12日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 総会	〈みよし市市民活動センター〉
	15日	ウクライナ避難者支援団体情報交換会	〈オンライン〉
	20日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	21日	(社福) 愛光園理事懇談会 認定・指定NPO法人になるには(VNS/名古屋市主催)	〈オンライン〉 〈オンライン〉
	27日	(N) 起業支援ネット通常総会	〈地域資源長屋なかむら〉

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
8月	2日	愛知県ヤングケアラー理解促進シンポジウム	〈オンライン〉
	3日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	6日	愛知県SDGsセミナー (中部プロボノセンター)	〈ウインクあいち〉
	8日	(N) ボランティアネイバース理事会	〈オンライン〉
	18日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
		知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	19日	愛知県学校づくりフォーラム	〈オンライン〉
		(N) 絆 アップサイクル・プロジェクト	〈オンライン〉
	23日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
	29日	知多市庁内連携ふらっと	〈知多市役所〉
	31日	知多市地域担当職員研修 (意見交換)	〈知多市役所〉
9月	5日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	7日	愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 説明会	〈三河県庁〉
		日本福祉大学0-100研究会全体研究会	〈東海キャンパス〉
	8日	(一社) サステイナブル・コ・イノベーション・フォーラム会議	〈JICA中部〉
	9日	NPO承継インタビュー (愛知学院大学津田先生・金城学院大学小室先生)	〈知多市市民活動センター〉
	14日	愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 説明会	〈国際会議場〉
	16日	(N) 絆 アップサイクル・プロジェクト	〈オンライン〉
	17日	介護と仕事を両立するための基礎セミナー (VNS主催)	〈オンライン〉
	18日	マイチャレンジ・インターンシップ2022・報告会 (アスバシ主催)	〈愛知学院大学〉
	20日	(N) 地域福祉サポートちた理事会	〈法人事務所・オンライン〉
	21日	あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
28日	愛知県内市民活動支援センター交流会 (世話人有志企画運営)	〈あいちNPO交流プラザ〉	
10月	5日	あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	11日	とっこ子主催 ITリテラシー勉強会	〈ちたしん本店〉
	15日	日本福祉大学サービスマーケティング報告会	〈美浜キャンパス〉
	17日	知多市地域共生社会づくりフォーラム	〈知多市役所〉
	19日	(N) あいち市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	20日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
		NPO法人あいち市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	22日	認定 (N) ネットワーク大府記念式典	〈ネットワークみやび〉
	知多市市民活動センターまつり	〈知多市市民活動センター〉	
11月	2日	日本福祉大学就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業実施委員会	〈鶴舞キャンパス〉
	5日	東大手の会主催 バックオフィス研修 (人に仕事を頼む時)	〈オンライン〉
	16日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	17日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈愛光園〉
		知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	20日	愛知県みんなで選ぶ「NPOアワード」 (中部プロボノセンター)	〈豊橋市em CANPUS〉
	21日	(N) 地域福祉サポートちた理事会	〈オンライン〉
	26日	知多市地域共生社会づくりフォーラム	〈知多市福祉活動センター〉
30日	JCNEアドバンス評価 (サポートちた認証更新) 審査	〈オンライン〉	

	日にち	研修名など	〈開催場所等〉
12月	1日	(社福) 愛光園理事会	〈愛光園〉
	2日	日本福祉大学(原田ゼミ3年) フィールドワーク受入	〈法人事務所〉
	5日	子どもゆめ基金第1回専門委員会	〈オンライン〉
	7日	日本NPOセンター主催「伝えるコツ」セミナー 1日目	〈オンライン〉
	8日	日本NPOセンター主催「伝えるコツ」セミナー 2日目	〈オンライン〉
	10日	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会	〈澁川福祉センター〉
	11日	(N) 絆主催 防災を意識した地域づくり講演会	〈東浦町勤労福祉会館〉
	20日	あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ 愛知県NPOと行政のテーマ別意見交換会	〈みよし市市民活動センター〉 〈あいちNPO交流プラザ〉
	21日	(一社) サステイナブル・コ・イノベーション・フォーラム 理事会	〈オンライン〉
	22日	愛知県未来応援協議会	〈クラシティ〉
1月	23日	知多市特別職等報酬審査会 知多市都市計画審議会	〈知多市役所〉 〈知多市役所〉
	13日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	14日	(N) 中部プロボノセンター講義	〈日本陶磁器会館〉
	16日	(N) 地域福祉サポートちた理事会	〈法人事務所・オンライン〉
	19日	(社福) 愛光園理事懇談会	〈オンライン〉
	23日	日本福祉大学就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業実施委員会	〈鶴舞キャンパス〉
	25日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	26日	知多市特別職等報酬審議会	〈知多市役所〉
	29日	知多半島フットケアサポート会通常総会	〈知多市市民活動センター〉
	30日	東海市主催 重層的支援体制整備事業における職員向け研修会	〈東海市立商工センター〉
2月	5日	(N) ボランティアネイバーズ理事会	〈名古屋市市政資料館〉
	6日	あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ ボラちゃんねるずvol12～ようこそ！市野さん～	〈みよし市市民活動センター〉 〈オンライン〉
	9日	知多市環境審議会	〈知多市役所〉
	13日	あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	16日	(社福) 愛光園懇談会理事会	〈愛光園〉
	18日	SDGsパートナーシップフォーラム	〈セントレア〉
	20日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
	21日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	27日	日本福祉大学0-100研究会全体報告会	〈東海キャンパス〉
	28日	子どもゆめ基金第3専門委員会	〈東京オリンピックセンター〉
3月	1日	(一社) サステイナブル・コ・イノベーション・フォーラム理事会	〈オンライン〉
	2日	(社福) 愛光園理事会 みよし市産後ホームヘルプ事業運営会議	〈愛光園〉 〈みよし市市民活動センター〉
	6日	日本福祉大学就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業実施委員会 (N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈鶴舞キャンパス〉 〈みよし市市民活動センター〉
	14日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ	〈みよし市市民活動センター〉
	17日	知多市都市計画審議会	〈知多市役所〉
	19日	南粕谷ハウス10周年記念式典 高校生介拓アワード2022	〈知多市南粕谷ハウス〉 〈新東通信ビル〉
	20日	(N) 地域福祉サポートちた理事会	〈法人事務所・オンライン〉
	22日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター 青りんごPJ VNS報告会「介護と仕事を両立させるための職務分析と組織体制づくり支援事業」	〈みよし市市民活動センター〉 〈オンライン〉
	23日	知多市市内連携ふらっと	〈知多市福祉活動センター〉
	24日	(N) だいこんの花理事会	〈喫茶らでいっしゅ〉